

エコ・エアポート基本計画

2016～2020年度の取り組みと目標

成田空港はステークホルダーと共に、空港運用に伴う地域への環境負荷低減と地球規模の環境課題に取り組み、持続可能な社会の構築を目指します。



※1 低騒音型航空機=成田航空機騒音インデックスにおいて A～Cの低騒音型航空機として分類される航空機
 ※2 低公害車=電気、ハイブリッド、プラグインハイブリッド、天然ガス、燃料電池、クリーンディーゼル、低燃費・低排出ガス認定車(ガソリン、ディーゼル、LPG)

周辺環境への取り組み



基本計画区分	基本計画における取り組み項目	取り組み項目を実現するための施策	目標
周辺環境への取り組み	航空機騒音による環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ●低騒音型航空機^{※1}の導入促進 ●補助動力装置 (APU) 使用抑制と地上動力施設 (GPU) の使用促進 ●騒音対策の更なる充実 ●航空機騒音のモニタリングと結果公表の充実 	航空機騒音による環境負荷を低減する
	大気質の保全	<ul style="list-style-type: none"> ●低排出型航空機の導入促進 ●航空機地上走行時間の短縮に向けた取り組みを実施 ●補助動力装置 (APU) 使用抑制と地上動力施設 (GPU) の使用促進 ●空港関連施設における省エネ推進 ●低公害車^{※2}の導入促進 ●空港周辺での大気質のモニタリングと結果公表の充実 	大気質の保全に取り組む 大気汚染物質 (NOx) を発着回数1回あたり基準年度 (2015年度) 比5%削減
	雨水排水の水質維持	<ul style="list-style-type: none"> ●防除水剤の適正使用及び回収・処理の実施 ●濁水などの流出防止対策の実施 ●工事期間における工区内貯留及び沈砂池の設置による濁水流出防止対策の実施 ●工事工区の細分化による濁水の発生抑制対策の実施 ●空港周辺河川などでの水質のモニタリングと結果公表の充実 	雨水排水の水質を維持する
	生物多様性を育む自然環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の状況把握と希少種などの保全活動の実施 ●農地環境の保全 ●里山の景観復元 ●グリーンポート・エコアグリパークの保全及び啓発活動などへの活用 	生物多様性を育む自然環境保全に取り組む
	地域と共に環境取り組みの推進・強化	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の状況に合わせた騒音対策用地の活用 ●地域と共に環境保全活動を推進 	地域と共に環境取り組みの推進・強化を目指す

資源循環への取り組み



基本計画区分	基本計画における取り組み項目	取り組み項目を実現するための施策	目標
資源循環への取り組み	資源の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> ●空港関連施設における一般廃棄物排出量削減及びリサイクル推進 ●産業廃棄物 (梱包材、木製スキッド、その他) のリサイクル推進 ●航空機からの取り下ろしゴミ削減に向けた取り組みの推進 ●お客様、従業員など空港利用者に対する意識啓発活動を実施 ●空港から発生したコンクリート・アスファルト廃材の再資源化を実施 ●刈草や伐採木などの有効活用に向けた取り組みを実施 ●グリーン調達の推進 	資源の循環利用に取り組む 一般廃棄物処分量を空港利用者1人あたり基準年度 (2015年度) 比5%削減
	水資源の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> ●建物別、季節別の上水使用状況分析による節水対策の実施 ●設備更新時における節水型設備の導入促進 ●中水使用による上水使用量の削減を実施 ●お客様、従業員など空港利用者に対する意識啓発活動を実施 	水資源の循環利用に取り組む 上水使用量を空港利用者1人あたり基準年度 (2015年度) 比3%削減

2016～2020年度の取り組みと目標

気候変動への取り組み

基本計画区分	基本計画における取り組み項目	取り組み項目を実現するための施策	目標
 気候変動への取り組み	空港からのCO ₂ 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ●低排出型航空機の導入促進 ●航空機地上走行時間の短縮に向けた取り組みを実施 ●補助動力装置 (APU) 使用抑制と地上動力施設 (GPU) の使用促進 ●次世代航空機燃料導入に向けた取り組みを実施 ●低公害車による来港支援 (EV充電設備、天然ガス・水素ステーション) ●低公害車の導入促進とエコドライブの推進 ●廃棄物焼却時のサーマルリサイクル (熱回収) 発電の実施 ●電力購入における低炭素電源の選択 ●再生可能エネルギーの導入促進 	空港からのCO ₂ 排出量を削減する 空港から排出されるCO ₂ を発着回数1回あたり基準年度 (2015年度) 比 7%削減
	エネルギー使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ●誘導路へのLED灯火設置拡大 ●エネルギー管理による省エネルギー対策の推進 ●省エネルギー活動の実施 (節電啓発、クールビズ、ウォームビズなど) ●新設及び設備更新時における省エネルギー機器の導入促進 	エネルギー使用量を削減する NAAが管理する空港施設でのエネルギー使用量を発着回数1回あたり基準年度 (2015年度) 比 5%削減
	地球温暖化に伴う気候変動への適応対策	<ul style="list-style-type: none"> ●暴風雨その他の異常な自然現象への防災対策を適切に実施 	地球温暖化に伴う気候変動への適応対策を進める

環境マネジメント

基本計画区分	基本計画における取り組み項目	取り組み項目を実現するための施策	目標
 環境マネジメント	環境アセスメントの実施と検証による環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ●機能強化に向けた環境影響評価法に基づく環境アセスメントの実施 ●自主的な環境アセスメントの実施 	環境アセスメントの実施と検証により環境を保全する
	ステークホルダーとの相互対話	<ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーとの相互対話を推進 ●エコ・エアポート推進協議会を中心として環境保全活動を実施 ●空港従業員への環境教育・啓発活動の実施 ●騒音、大気質、水質測定結果、飛行コースなどの環境情報の公開 ●騒音、大気分野などの環境関連学会での発表 ●エコキッズ・クラブ、環境展示会への出展、出張環境教室の実施 	ステークホルダーとの相互対話を積極的に実施する
	ステークホルダーと共に空港の活動に関連する社会全体での環境負荷低減に取り組み価値創造を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーと連携した環境負荷低減活動の推進 ●環境に配慮した調達の推進 	ステークホルダーと共に空港の活動に関連する社会全体での環境負荷低減に取り組み価値創造を目指す
	国内外空港と連携した環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ●国内主要空港連絡会議を活用した情報交換や環境保全活動の推進 ●国際空港評議会 (ACI) を活用した情報交換や意見発信 ●海外空港との情報交換や技術提供 	国内外空港と連携し環境負荷低減に貢献する
	環境認証制度を活用した環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●環境認証制度を活用した環境マネジメントの推進 	環境認証制度を活用した環境マネジメントを実施する
	東京オリンピック・パラリンピックに向けて各種施策や新たな技術の試行・導入に取り組み、世界にエコ・エアポートを発信する	<ul style="list-style-type: none"> ●低炭素、良好な大気質、3R (リデュース、リユース、リサイクル) に向けた環境施策の推進 ●成田空港での水素エネルギー活用に向けた取り組みを実施 ●次世代航空機燃料の導入に向けた取り組みを実施 ●エコ・エアポートの発信 	東京オリンピック・パラリンピックに向けて各種施策や新たな技術の試行・導入に取り組み、世界にエコ・エアポートを発信する